

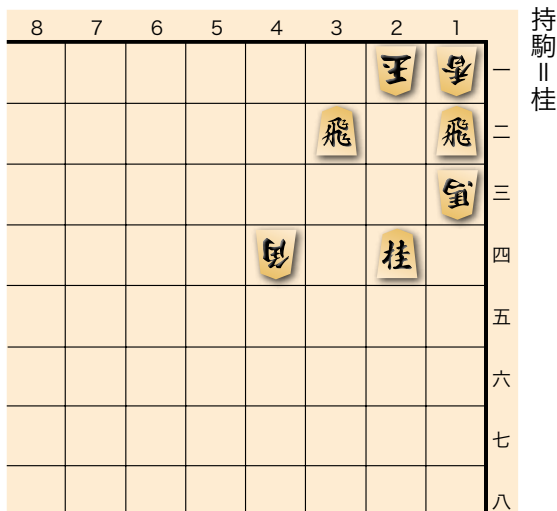
次の一手

答え合わせ

〈第25局〉

詰将棋 問題 5手詰 (10分で3~4級)

ヒント 桂馬をうまく捨ててください



〈監修〉中田功八段

詰将棋 答え

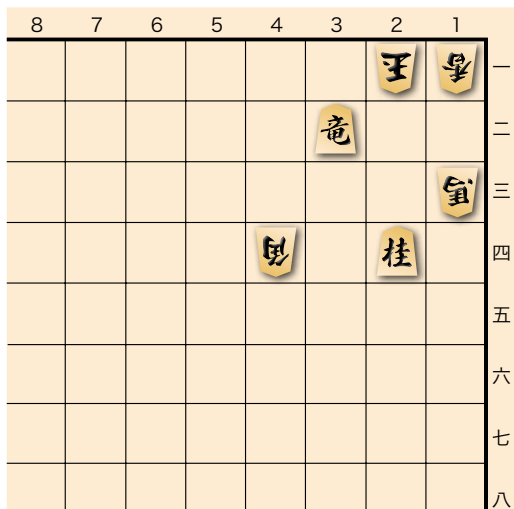
▲ 3 一飛成▽同馬 ▲ 1 三桂▽同馬 ▲ 3 二飛成までの5手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

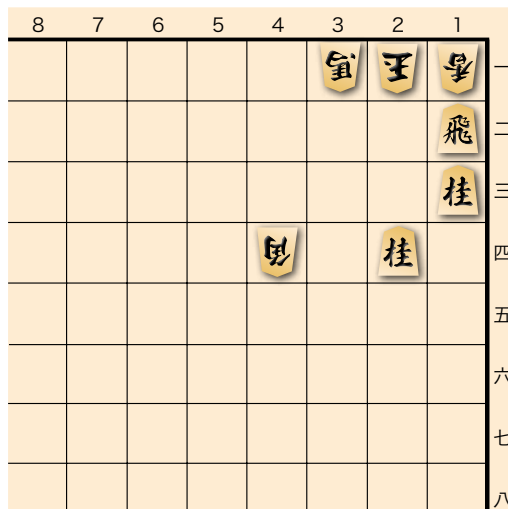
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰、19年八段。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」。



詰め上がり図



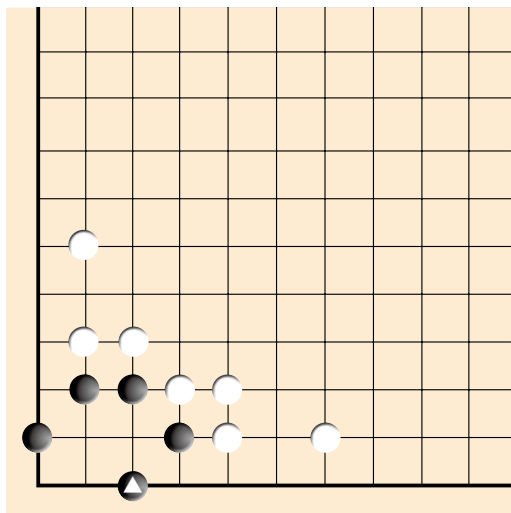
途中図 (▲1三桂まで)



(解説) 初形で先手の3二飛が無ければ、▲3二成の1手詰。そこで初手▲3一飛成を捨てて、図▲1三桂で後手の馬を呼び寄せて所期の所期の3二飛成を実現。

詰碁 問題 白先黒死 (5分で初段)

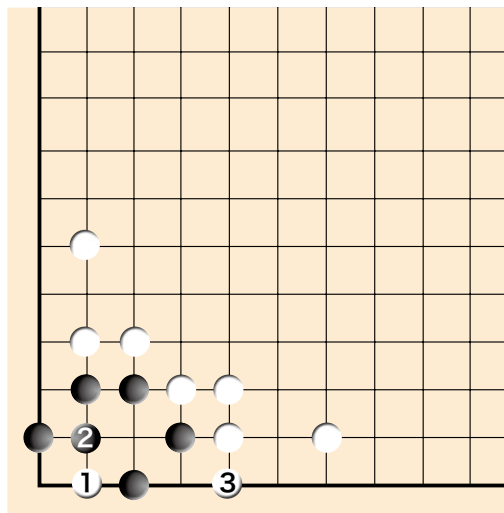
ヒント △とカケツいで楽々黒活き…? 「どこか怪しい!」と感じた時こそ手筋の出番です



〈監修〉大淵盛人九段

詰碁 正解図

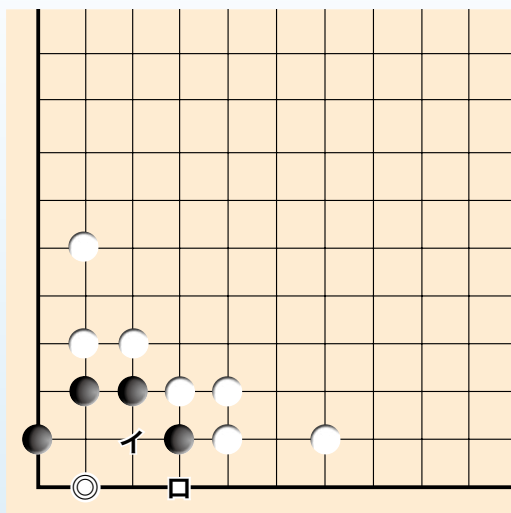
丸暗記おすすめ、白1から3のコンビネーション



白1がウソ形を見破る「鋭い手筋」です。黒2に、黙って白3のサガリ。アツという間に欠け眼を暴き、見事に黒を仕留めました。

詰碁 参考図

黒は◎なら本物の二眼活き



実はこの形、カケツいでしまっただけでは活きません。黒は◎に打つのが「正しい急所」きっちり二眼活きになります。(続いて白イには黒ロと打てる!) 覚えて上達間違いない正解図。白1、3の手筋でした。

大淵 盛人 (おおぶち・もりと)

1965年8月10日生まれ。福岡県柳川市出身。

中1で碁を覚え、1981年4月上京、大枝雄介八段(当時)に入門を許され約8年内弟子修行を経験する。83年入段、97年九段。棋士養成機関で師範を長年担当。日本棋院常務理事。門下生に内田修平七段、奥田あや三段他。

人生の指針となる言葉「サムエル・ウルマンの『青春』」。

